

2024 年度

# 通室の手引き

ぽこあぽこクラス

「お子さまが自分でできる」をもとに 作成した手引書です。

ルールだからではなく お子さまが自分自身の主人公になるためには？という観点で  
書いてあります。 教室仕様ということではなく、普段の日常生活の自立にも活用ください。

お読みになった上で疑問点・補足が必要な等は お尋ねください。

(これまで別紙で配布していたものを 一冊にまとめました。 重複している部分もございます)



モンテッソーリ子どもの家 ぽこあぽこいんふぁんと

複製・転写・譲渡・掲載禁止

## 保護者さまへ

☆ご家庭の生活の中での自立を培えるようにしてください。自分で自発的にすることは、成長する大きな要素です。

靴の脱ぎ履き ・ 身支度 ・ 着替え ・ トイレ(排泄の自立) 手あらい 等

☆教室での教具の活動が「おしごと」ではなく、子どもが自立する取り組みをすべて含めて「おしごと」と呼びます

- ・ 教室でのおしごと(教具)は好きに使いません。必ず最初の使い方を先生に提示を受けるようにします。
- ・ お仕事では、次々にものを出して取り組むのではなく、必ず一つしては元の状態にして元の場所に戻すのが約束です。次に使う人のための(それが自分となる場合もある)心遣い(社会性と秩序)です。  
おうちでも 広げて遊びっぱなしになり、声掛けと共にまとめて片付けをせねばならないということになると、片付けがとてもしやなものになります。片付けは次に使う準備でもあるのでそのつもりで 片付けの声掛けや関わりをしてあげてください。
- ・ お子さまが活動している間は、間違っている危険やとっさの場合 みんなの共有物(家庭なら家族のもの)を粗雑に扱っていない限り不用意に声を掛けません。失敗と思っているのは大人の経験値であり、子どもはまだそこに行き着く探究中といえます。それを先回りして失敗として 成功(うまくいく)ことに導くことは、集中を妨げるだけでなく、興味や関心をもったことを 否定される(自尊心を培うなというメッセージ)につながります。「秩序内は見守る」ことをしましょう。
- ・ 終わったときに積極的に大人から、安易な「すごいね」「上手だね」は子どもの満足も自己評価もできない子になります。また、終わったことを 「できた」といってしまい、なんでも「できる」と 考えてしまうあまり、困難への耐性どころか 工夫したり 気付く力も奪ってしまいます。まずはそれを味わう「間<sup>ま</sup>」を見守ってください。
- ・ 子どもが物を落としてしまったら、必ず子どもに取ってもらうようにします。すぐに声掛けをせず、まずは見守りそのままにするようであれば、 気付く声掛けをして「自分で拾う」ことを伝えましょう。 大人が取って「どうぞ」はいけません。拾いやすくするようなお手伝いも不要です。
- ・ お子さまがしないといけないこと(片づけなど)は「○○しよう?」ではなく「○○します」とはっきり伝えます。集中や関心が減り遊びになる手前で片付けを促すのもよいでしょう。そして声掛けだけでは、片づけをさせられるという場面になりがちです。遊びは見守り、片づけこそ一緒に楽しくしてみてください。片づけの嫌感がへっていきます。
- ・ してはいけないことは、単に「ダメ」ではなく、きちんと「理由を伝え」やめさせましょう。わかっていて顔色を見てしているときは ダメと分かっていることは相手の顔をみて決めないことを毅然と いけないことを伝えましょう。
- ・ お子さまになにかを伝えるときは手を止め、目を見てください。お子さまも同様です。
- ・ お子さまが言いたいことを先に代弁してはいけません。お子さまにきちんと伝えさせてあげてください。

☆荷物は必ずお子さまが持ち、歩いて入室してください。ベビーカー・だっこでの通室はご遠慮ください。

# ぽこあぽこ せいのみなさんへ

## おやくそく

- じぶんの にもつは じぶんでかばんにいれましょう。できないうちは おうちのひとと いっしょにいれてもかまいません。いれかえるものだけでなく まいかい ぜんぶ れることをすると じぶんの にもつだけでなく じぶんのことが わかるようになります。
- カバンは、おうちから じぶんで もってきましょう。かえりもじぶんで いえまでもってかえります。おうちのひとに もってもらわず かならず いえまでもちかえります。
- きょうしつに きたら げんきに あいさつをしましょう。 おうちで じぶんのなまえや あいさつをできるように れんしゅうをしておいてください。
- こまったことや わからないこと、はじめのてのおしごとがあれば せんせいに ききましょう。おとなにってもらって うなづくのではなく じぶんで いえるようにしておきましょう
- かぜをひいたときは、かならずマスクをしましょう。 じぶんだけではなく まわりのひとへのきづかいを まなびましょう
- おやすみをせず、げんきにかよいましょう。



## 【服装編】

### 【髪型(女兒)】

- 長い人はお仕事の時に手暗がりになります。必ず束ねてください。
- 髪飾りは華美なものではなくシンプルに。

### 【帽子】

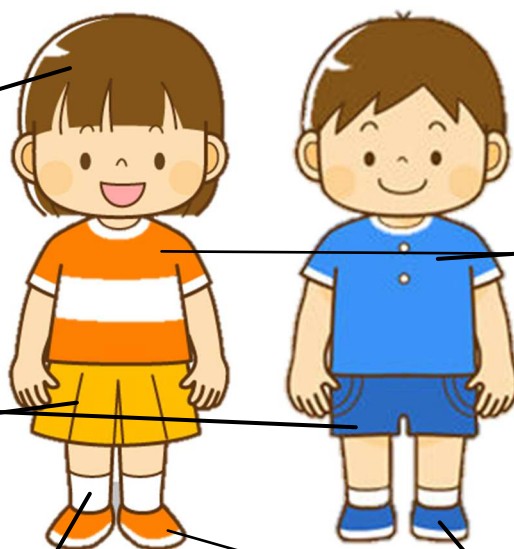
- 無帽で入室ください。

### 【ズボン・スカート】

- トイレの時に脱ぎ履き。上げ下げしやすい 丈・サイズ・素材を選んで下さい。
- ハンカチ・ティッシュが両側に入れられる・入れやすいデザインを選んでください。

### 【靴下】

- 厚すぎ(パイル地・フリース地のようなもの)は、お子さまが靴下自体の脱ぎ履きができないだけでなく上靴等の脱ぎ履きもできません。柄等は問いませんが 脱ぎ履きしやすい 普通地のものをお選びください。



### 【トップス】

- 柄やフリルが多いものよりもシンプルなものを選んでください。
- 長袖の場合 手を洗う時に袖が自分で上げ下げができるものにしましょう。(伸縮しない素材 袖口がボタンで留められているもの サイズの大きいもの・小さすぎるものはお子さまが自分で扱えません。)

### 【靴】

- 自分で脱ぎ履きができるサイズ・デザインを選んでください。
- かかとを入れにくい人にはかかとに紐を通して輪にして指をかけられるようにしてください。

### 【マスク】 風邪症状があるときは 必ず着用しよう

- 大きさ・ゴムの長さなど お子さまが付けてフィットするものをご用意ください。
- 素材の指定は特にありません。



### 【コート】

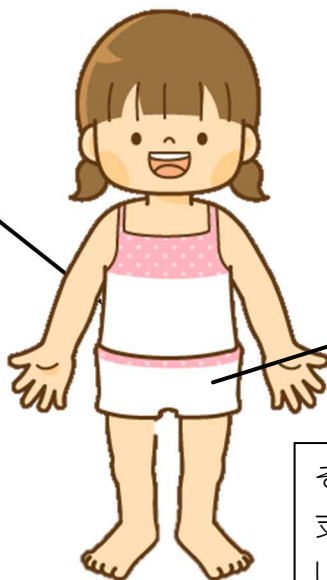
柄やフリル等の飾りの多いコートは どの部分に手を入れてどの部分に留め具があるかわかりません。生地も柔らかすぎると 一人でできません。ファスナーやボタンがわかりやすく掛け外しのしやすいものを選んでください。

慣れない内は 入室前に預かっていただいても結構です。

## 【肌着編】

### 【肌着上】

- 厚すぎたり・薄すぎたりせず 季節・体調・体温に合わせて お選びください。
- 洋服も柄+肌着も柄となると、トイレ後に整えるときにどれを扱っていいのかわかりません。洋服が柄のあるものを着るなら、無地のものが無難ですね。
- 丈の長いものは トイレの時にあつかいにくいです。折り上げて軽く縛う等扱いやすいようにしてください
- ロンパースは卒業させてあげてください。

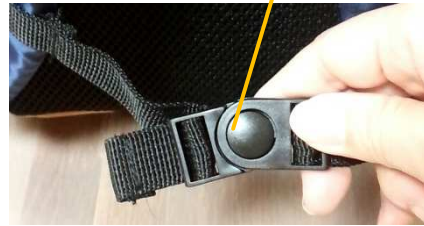


### 【パンツ】

- 形は問いませんが 柄が多いと前後ろがわかりにくく履きにくいです。前後がお子さまにとってわかりやすいものをご用意ください。
- 女の子はフリルがないものをお願いします。
- トレーニングパンツは 排泄自立を助けませんので 普通地のものをはかせてください

その他 腹巻や過分な重ね着は 差し支えますので来室時は着用なしをお願いします。

## 【持ち物編】ーリュックー



写真のバックルは一例です

・体や荷物に合った大きさ 扱えるデザインや形状のものを選んでください。

- ・ 胸元にあるバックルは お子さまご自身でできる型・硬さのものをえらんでください。
- ・ ファスナーの滑りの硬さとリュック時のバランスもお子さまによって異なります
- ・ あまりにちょうど良いサイズだと 出席ノートが自分で入れられなかったりします。少し余裕がある方がいいですね。(大きすぎずに注意してください)

購入(準備)前に お子さまに させてあげて これならできる・練習すればできるというものを選んでください。

---

## ーサブバックー

- ・ A4サイズの冊子形状の配布物や 月の最後のレッスン日に 作品を綴じた作品帳(A4サイズ)を持ち帰り(月初めに)持参するときに使用します。(A4以上の大きなものはありません)

※素材は どのようなものでも構いませんが、「生地が薄い・サイズが丁度すぎて物が入れにくい」「大きすぎたりぶ厚くサイドポケットに入れにくい」といったことのないようお選びください。

- ・ 普段はリュックのサブポケットにたたんで入れておきます。お子さまがたためるように 折り目にアイロンをかけてたたみやすいようにしてください。
- ・ 手提げも長いと子どもが持った時に 引きづります。そんな時は 短くなるよう重ねて縫うなど 加工してください。



※写真のものは 100 円ショップで売っているものです

## —靴袋—

- 形の規定はありません
- 手提げタイプ バニティータイプ 形状に規定はありません。 **お子さまが自分で扱えるものが規定としてお選びください。**
- 大きすぎても、丁度すぎても、小さすぎても扱いきれません。少し隙間(余裕)のある程度の大きさが使いやすいそうです。
- 巾着でも構いませんが お子さまが開閉し 出し入れができるものでお願いします。  
※ キルティング素材、 柔らかい素材、 生地目の粗い素材、 摩擦の多い素材は非常に使いにくいです。  
滑りの良い素材が いいですね。



## —上靴—

- 形・色の規定はありません(柄の多いもの **キャラクターのついているものはおやめください。**)
- お子さまの履きやすいタイプ サイズをご用意ください。
- その硬いもの厚いものは 歩いた時に大きな音になることと 重くぬぎはきしにくいので 上履き用としてはふさわしくありません。
- 靴のかかと側のループに伸縮がしない紐を通して輪にしてください(履くときにひっばります)
- 氏名記入を忘れずに。



かかとに紐をつけると履きやすくなります

両内側の親指の付け根部分になる場所にマークを書いておいてください。



## —お着替えセット—

- スーパーの袋(透明・半透明のもの)に パンツ・ズボン(スカート)・靴下をたたんでお入れください。(袋は大きすぎないようにしてください)
- 必要セット数(心配のない人でも1セットは必ずいれておいてください)心配な方は3~4セット。1セットごとに袋に入れておいてください。
- お入れいただいた袋に濡れたものを入れます。  
(水洗いは行わず(余計に重くなります)そのまま袋に入れます)
- たまにシャツまで濡れる方がいます。 その時のために 1セットはトップス・肌着も入れておいてください。



替えが足りない場合は教室のをお貸しすることもできますが、 出払ってお子さまにジャストサイズのものが無いこともあります。

### ☆もしも教室物を着た場合☆

- ◇ パンツ以外のもの(洋服等)⇒洗濯後 お子さまから返却するようにおもたせください。
- ◇ パンツ⇒直接肌に触れる衛生品ですので **新品のもので返却**をお願いします。履いて帰ったものはご家庭用としてお使いください。

## —うがい用コップ—

- プラスチックのコップ
- 布巾（約30センチ×30センチ）に包んで、ビニール袋に入れてください。

※袋はちょうどいい大きさ・透明の袋であること（ビニール袋・スライド式の袋等）

※袋の口は しばらないで コップの中に入れ込むようにしてください  
（スライド式は空気が抜けるよう穴をあける）

※出し入れがお子さま自身でできること（練習もしておいてください→QR で説明）

※うがいの練習もしておいてください。



## —ハンカチ・ティッシュ—

### 【ハンカチ】

お子さまのポケットに入るサイズのものを選んでください。（利き手側に入れる）

教室では まだきれいにたためない人も多いです。そのため指先を使ってくるくと巻いて ポケットに入れています。

タオル地のものは 正方形の小さなものでもお子さまのポケットには大きなものとなります。9×17 センチくらい  
の長方形のものが 扱いやすいです。

### 【ティッシュ】

・お子さまのポケットに入るもの（必ず記名して これが自分のものと分かるように。）

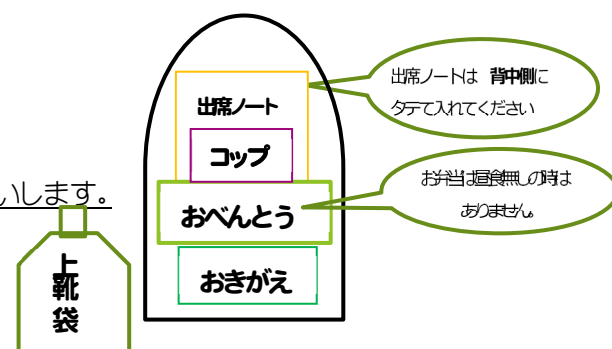
## —荷物を持ち運び・出し入れは—

「自分のものを持つ」ということは 主体的に物事をとらえる 自分のことに責任感を持つための第一歩です。入室・退室の前後に決して代わって持たないようお願いします。 お車の場合でもお子さまが自分で脱着をして扱うようにしてください。

また鞆に荷物を出し入れするのも 大人が勝手になさらないでください。 おしえながら お子さまに入れるようお願いいたします。（でないと 入室時に 何が入っているか本人がわからず あっても「ない」と思ってお子さまが困られます。）

帰宅後も みまもりながら お着替え等 出すことを促しながら  
自分で出させてあげてください。

お子さまの知らない間に お手紙や 着替えを出さないようお願いします。  
これらは普段からの積み重ねでしか 身に付きません。  
教室の時だけ…ではなく 日常から 自分の荷もつは  
自分で持つように 習慣化してください。



# —入室が始まる前に練習を始めましょう—

## 1. 靴の脱ぎ履き 脱いだ靴をそろえる

## 2. 着る服の選びと着脱

自分で着る服は予定に合わせて自分で選べるようになります。最初は「こっちとこっちのどっちがいい?」といった2択からスタートし、段々選択肢を増やし 選択肢を外すといった具合に段階を踏んでください。

## 3. 起きている間の排泄自立

まずは、寝起きすぐにトイレに行くのがいいですね。寝ぼけから覚めるのを待っていると間に合わないことがあります。

## 4. ルールを守る

決めたのに反して この時は許して この時は叱るということなく、一貫して接しましょう。

## 5. 名前を自分で言える(インターフォンで言ってもらいます)

「〇〇 〇〇です」と、フルネームで言えるようにしましょう。大人が「〇〇ちゃん」「〇〇くん」と言っていると自分のことを「〇〇ちゃん(くん)」と言ってしまいます。そんな時は「〇〇」と普段から「ちゃん(くん)」を外して呼んであげてください。

## 6. あいさつ

「おはようございます」「さようなら」「いってきます」「ただいま」「ありがとう」「いただきます」「ごちそうさま」など言えないから、適当でもOKではなく 言える範囲で練習をしていきましょう。

## 7. 赤ちゃん言葉の卒業

わんわん→犬 くっく→くつ ぞうさん→ぞう ばあば・じいじ→おばあちゃん・おじいちゃん ブーブー→くるま 等

※赤ちゃん言葉を大人と共に使う事で 子どもはそれが正しい言葉と思って使います。そしてその後、これまで使っていた言葉を訂正して名前を覚えるという大変困難で混乱を強いてしまうことになります。最初から、正しく使う事で 言葉に混乱をさせないよう より多くの正しい言葉を 使ってそれが吸収できるようにしましょう。

## 8. 日常の会話(やりとり) 特に要求を自分からいえるように

「うんうん」とお子さまが言うと お母さんはわかりますが、他の人には伝わらないことも多くあります。コミュニケーションを活発にすることは お子さまの言語だけでなく、脳の発達には必要不可欠です。〇〇が欲しいの?と先に尋ねて「うん」「うん」といった yes/no クイズにならないよう わかっていても「どうしたの?」と尋ねて「〇〇が欲しい(ください)」といった要求がいえるように 練習してください。何かができずに癇癪を起しそうになっていたら「手伝って(ください)」という事を 伝えて言わせてあげてください。

## 9. 「見ること」「まつこと」「順番」ができるように

何でも やってあげるのではなく お子さまにさせたいときは 「みててね」と言って見せて 元に戻してさせてあげましょう。また公園や児童館等で 勝手に人のものに触りそうになったら 勝手に触らないことの練習。断ったり尋ねてから触ること、また知らない子が触ってきたら 「今〇〇君がつかっているからごめんね」といって守ってあげるのもよいですね。お母さんの家事などですぐに手を離せないときなど 「まっててね」と言って ほんの少しの時間(数秒~数分)待つ練習もしてください。(絶対に時計の針が〇〇まで待つ)といった訓練にならないようにしてください。いずれも日常の中で繰り返し行うことです。

## 10. (大人側)甘えとわがママを分ける

甘えていい時と わがままな時 それを分けて対応せねば 子どもは 大人の足元を見て ごねれば言う事を聞いてくれると 学習します。正しく 甘えられる(信頼して頼れる)ようにしましょう。

## 11. (大人側)頑張っているときに 勝手に手助けをしたり 言葉をかけない

危なくない限りは子どもが一生懸命何かをしている時(それがうまくいってなくても)には 声を掛けたり不用意に手伝ったり 安易な褒め言葉を掛けないようにしましょう。

## 12. (大人側)いつも音楽をつけていたり テレビをつけっぱなしにしない

「小さな音ならよい」という事はありません。お子さまがテレビを見ていないとき おもちゃで遊んでいる時、食事の時は音が鳴っているという状態を決して作ってはいけません。これを知らずに続けていると 集中ができない子を作ってしまいます。英語のかけ流しも同様です。絶対的な無音ということではありません。生活音はOKですが、不用につけっぱなしになっている・視聴以外のことをしているのについているメディアの事です。

## 13. (大人側)知らないことは何度でも伝える・毅然という。ただし、わざとは きちんと叱る。

大人には不都合で当たり前のことも知らずに興味のまましていることもあります。それが何か説明してあげたり なぜよくないのか まずは伝えるという点で 叱らず丁寧に そして毅然と伝えましょう。「〇〇すると鬼が来る」「〇〇するとおこられるよ」という言い方は絶対にNGです。子どもはまだまだ理性が利きませんので、何度でも伝えることが必要です。ただし、わかっているけれど「わざと」しているときは 知っていたことに叱る(毅然と伝え)、必要があるとともに 何度もする理由が他にあるので そこを見てあげる必要があります。

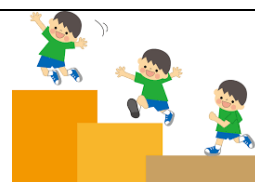
# 活動の流れ

-ぽこあぽこクラス編-

|        | おこさまのおしごと                                                                                                                                                                                                           | 大人のおしごと                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|--------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 来るとき   | <ul style="list-style-type: none"> <li>●カバンを(自分で)持つ</li> <li>●靴を(自分で)はきましょう</li> </ul>                                                                                                                              | <ul style="list-style-type: none"> <li>●荷物はお子さまが自分で持ち出したり片づけられたいできるようにしてあげてください</li> <li>●お子さまができる時間を用意してあげましょう。</li> <li>●車は左図のようにお停めください。</li> <li>●少し離れていますが、1台分契約駐車場があります。</li> <li>●<b>大きな車、満車の場合は、近くのコインパーキングのご利用をお願いします。(耳鼻科駐車場への駐車は絶対になさらないでください)</b></li> <li>●倉庫前にお停めになるときは 極力 北寄り且つ倉庫より前に停車して乗降は道側で行ってください。大きい車の方・不安な方は1番目でも②にお停めいただいて結構ですが、<b>必ず奥まで(車止め)入れていただき、もう一台が</b> はいるようにしてください。</li> <li>●②・③の縦列になるときは <b>お声を掛け合って安全に</b>とめていただけるよう協力をお願いします。</li> <li>●いっぱいの場合は、お近くでお待ちいただき順に入ってください。(退出時も同様です)</li> <li>●代弁せず、お子さまが言えるようにお手伝いください。言えなくても言おうとすることが大切です。(お家でも練習してください)</li> <li>●入室は5分前～00分になっています。それ以前は準備等行っておりますので待機をお願いします。</li> <li>●<b>慣れない間はいつまでも見送らず、お母さまの方から「いつてらっしゃい。お買い物に行ってまた迎えにくるね」と言って先におかえりください。</b></li> </ul> |
| 駐車     |                                                                                                                                                                                                                     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 入室     | <ul style="list-style-type: none"> <li>●インターフォンを鳴らし</li> <li>●「おはようございます。〇〇です」と言います</li> </ul>                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| (5分前～) | <p>だっこはしてもらいせん</p>                                                                                                                                                                                                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 玄関で    | <ul style="list-style-type: none"> <li>●靴を脱ぎ、脱いだ靴は端に寄せます。</li> </ul>                                                                                                                                                | <ul style="list-style-type: none"> <li>●お子さまが自分でするように声をかけ見守ります。</li> <li>●「端に寄せる」は次のひとへの配慮で社会性につながります。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| トイレ    | <ul style="list-style-type: none"> <li>●荷物を置いて、トイレ・手洗い・うがい・消毒をする</li> <li>●おまるからスタートして 次に男の子は立って、女の子は補助便座付き大人用便座でします。</li> <li>●最初は下を全部脱いでトイレに行きますが、だんだん慣れてくると 膝まで下げて用を足します。男の子は立ってする練習をします。(段階により座ることも)</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>●トイレのタイミングを大人がわかっていますか？当て外れに 誘っても自立には向かいません。</li> <li>●子どもが尿意を感じるのが大事です。それがわかるまで 大人も忍耐強く 付き合います。</li> <li>●モンテッソーリ教育のトイレは トレーニングではなく ラーニングです。 子どもが排泄を学ぶことです。</li> <li>●子どもの意思は大事です。でも、必要な時はぐっと励まして進めることが大人には求められます。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 手洗い    | <ul style="list-style-type: none"> <li>●水道のレバーも自分で開閉し、石鹸をつけ 洗います。</li> <li>●ハンカチをポケットから出して拭きます。</li> </ul>                                                                                                          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| うがい    | <ul style="list-style-type: none"> <li>●最初は ごくんと飲んでしまうかもしれませんが、段階をふんで 喉うがいができるようにします。</li> </ul>                                                                                                                    | <p>ハンカチは、大人が横から渡したりせず自分のポケットから出して使うことを普段から習慣化します。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |

|        |                                                                                          |                                                                                                                                                                          |
|--------|------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 主席     | ●出席カードを出す                                                                                | ●前のひとがしているときは、遊んだりお話ししたりして待たず、並んで前のお友達の様子を見るようにします。                                                                                                                      |
| ノート    | ●助けてもらいながら 日付を言ったり貼る場所を見つけたりする<br><br>●シールを貼る                                            | ●「次どうぞ」や「ありがとう」の声掛けをします。                                                                                                                                                 |
| ご挨拶    | ●先生と挨拶をします。                                                                              | ●大人も一緒にします。                                                                                                                                                              |
| おしごと   | ●自己選択活動をします                                                                              | ☆お子さまが行う活動です。横にぴったりいたりいるとお子さまが自立しません。必要な時にサポートし、必要がない時には離れます。<br><br>●いつも「これにする？」といった誘導をせずお子さまの選びを待ちます。何度も同じものを選ぶのも選択です。                                                 |
| ベル     | ●聞こえた場所に座り、先生の方を見て話を聞く。                                                                  | ●全体の中で 話を聞きます。                                                                                                                                                           |
| 昼食     | ●昼食準備・挨拶・食事・片付け<br><br>机をふく／ランチマットを置く／お弁当やコップを出す<br>おちゃをいれる／みんなで挨拶をする／食べる<br>うがいをする／片付ける | ●一つずつ 自分でできるように伝えていきます。代行することはありません。<br><br>●子どもの食事にはたくさんの学ぶことがあります。大人も知って関わることが 大事です。<br><br>●お弁当に適した内容を大人も知って段階を踏んで進めましょう。<br><br>●食事には、マナーも大事です。 食事しながら学べるように伝えていきます。 |
| 帰りの身支度 | ●トイレ・手洗いをする                                                                              | ●靴袋に上靴を入れて トイレに行きます。                                                                                                                                                     |
| 帰りのお集り | ●カバン・上靴袋をもって集まる<br><br>●名前を呼ばれたら「はい」と返事をして「ありがとうございます」と言ってもらう。<br><br>●自分でノートをリュックに入れます。 | ●カバンに入れるのも自分です。時間がかかってもできそうなら見守ります。<br><br>●難しい場合は、 おうちでも教室ごっこをして練習しましょう。                                                                                                |
| 挨拶     | ●「ありがとうございました。さようなら」                                                                     | ●大人も同様にすることでロールモデルになります。促すだけでなく共にします。                                                                                                                                    |
| 靴をはく   | ●自分の靴を広いところに持っていき履く                                                                      |                                                                                                                                                                          |
| 門で     | ●「ただいま」とおうちの人に言う                                                                         | ●「ただいま」といった後に「おかえり」といってあげてください。<br><br>●報告の間は あそばれてまつのではなく <b>手をつないで一緒にいてください。</b>                                                                                       |
| 帰宅後    | ●自分の荷物を置くところまでおしごとです                                                                     | ●降車後も荷物を代わって持たず自分で家の棚まで持ち入り、片づけるよう声をかけてください。<br><br>●手紙があるときは <b>自分で出すように声をかけて</b> 、大人がしないようにしましょう。                                                                      |

最初からできる人はいません。一つずつコツコツ積みかさねるからできるようになります。お子さまは「自分でできる」ことがとてもうれしいです。お子さまとその喜びをぜひ感じてください。



## 駐車場について

教室前の駐車場と別に 下記の契約駐車場もご利用ください



# 入室の前後 連絡

## 通室の前

- ① **準備**：前日に準備を共にして、行くことと 期待をもった励ましの声を掛けてあげてください。  
「いきたい?」「楽しい?」「がんばろうね」といった声かけは、不安を誘うので NG です。
- ② **通室前連絡**：メールで 1 週間の お子さまの様子(簡単に結構です)・ お母さまの関わりの中での疑問点など お送りください。(前日の22時までにお送りします。)

### 記入項目例

- おトイレ自立がまだの方は、家での様子を
  - 食事で課題がある人はその様子を
  - お話が 課題になっている人はその様子を
  - 生活習慣が課題の人はその様子を
  - こども広場に行ったときのエピソード
  - 兄弟やお友達とかかわった時のエピソード
  - 着替えの時のエピソード
- 等

→よいことだけでなく **そうでない時こそそのやり取りを** お知らせください。

その時に お子さまの様子だけでなく、こういった関りをこのタイミングでしたのだけれど なにかうまく伝わらない・ 逆にこうしたら 上手くできた気がする 等 大人の関りもお知らせいただくと 読ませていただいて ここはお伝えしておいた方がいいなという時に お返事をさせていただけます。うまく伝えきれないと思われたら、 写真や動画も共にお送りください。

## 通室の後

メールにて 教室での様子を写した写真をお送りします。

## メールの設定を確認ください

- ① 教室のメール pocoapoco.infant.info@gmail.com が着信できるようにしてください。
- ② 教室とやり取りくださるメールのプロフィール設定で お名前を(特に姓)が 旧姓になっている場合、ニックネームになっている場合が多いので確認の上 必ず **現在の姓名**となっているようにお願いします。
- ③ 写真添付の際に サイズ制限がありますと 送れない場合があります。 サイズ制限(特にキャリアドメインの方)を最大にするか、 gmail のような フリーメールを 教室用にご用意ください。
- ④ 必ず送ってくださるメールの題名に お子さまの名前とご用件をお入れください。  
名前がない場合・件名がない場合は 事故防止のため開かず削除する場合がございます。

## 連絡は…

基本、メールにてお願いします。(時間へのお気遣いは必要ありません。24 時間 OK)

# お子さまの体調ルーティンをお知らせください。

お子さまの体調は すぐに変化します。

日々の記録をつけていただくことで 教室に変化があっても それをもとに みることができます。  
また お出か記録など お子さまとのコミュニケーションにも使用させていただきます。

## その一、 用紙(健康チェック表)は ダウンロードしてプリントアウト。

メンバーズページに掲載しています

## その二、 記録して入室時に先生に渡す(手持ちで持ってくる)

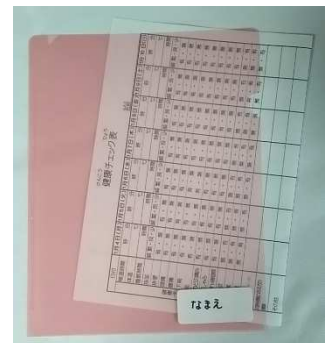
健康管理面を 見える化をしてご協力をしていただいております。

大変お手数をおかけするのですが、「健康チェック表」を毎日お付けいただいております。

これは教室に通室するための表という意図にとどまらず 通室日でない日も毎日つけていただくことによって、もしも突発的に熱が出た時に その表を病院に持参してくださることで 熱が 何からくるものなのか (いつどこに行ったか? この日は平熱だった。寝不足気味だったかも…おなかが痛いのは便秘気味 等) ということが 分かります。 また 来室されたときにも お子さまの様子に 何かを感じても それが何からくることなのか 健康からなのか そうでないのかも含めて 察知できる情報となります。

## クリアファイルに入れる (A5 サイズ)

- ✧ クリアファイルに入れてください。(ぽこあぽこクラス:A5サイズ)
- ✧ お子さまのカバンにお入れください。ファイルは透明のものであれば 色は問いません。
- ✧ ファイルにも記名をしてください



## 排泄自立には お子さまを大人が知ること

排泄の自立が 未だの方は 下の表もつけて 健康チェック表と共に 提出ください。

| 5月15日(月) |        | 尿                                     | 便 |
|----------|--------|---------------------------------------|---|
| 時間       |        |                                       |   |
| 0        |        |                                       |   |
| 1        |        |                                       |   |
| 2        |        |                                       | ○ |
| 3        |        |                                       |   |
| 4        |        |                                       |   |
| 5        |        |                                       |   |
| 6        |        |                                       |   |
| 7        |        | ○                                     | ○ |
| 8        | おき     | ○                                     |   |
| 9        | 朝食     | ○                                     |   |
| 10       |        | ○                                     |   |
| 11       | さみし。公園 |                                       |   |
| 12       | 昼食     | ○                                     |   |
| 13       |        | ○                                     |   |
| 14       | ↓おしり   | ○                                     |   |
| 15       | ↑おしり   | ○                                     |   |
| 16       |        | ○                                     |   |
| 17       | 夕食     | ○                                     |   |
| 18       | おき     | ○                                     |   |
| 19       | おき     | ○                                     |   |
| 20       | ○      |                                       |   |
| 21       |        |                                       |   |
| 22       |        | ○                                     |   |
| 23       |        |                                       |   |
| 備考       |        | おき... 安定に排泄<br>声かけ- 尿はしては<br>おき前 排便準備 |   |

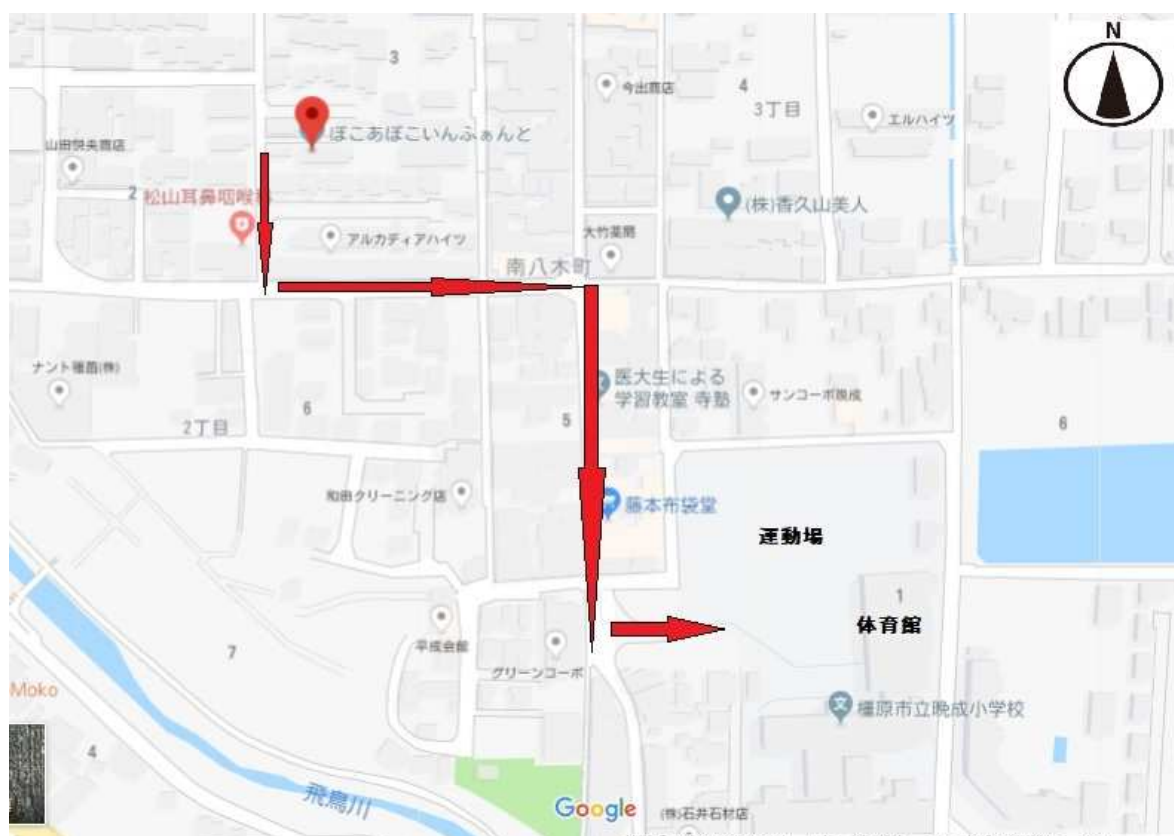
# 災害時の避難所に関してのお知らせ

## 地震・その他の災害発生時

1. お仕事(レッスン)中に発生した場合、レッスンを直ちに中止し、お子さまはいったん教室で保護します。
2. お子さまの安否・教室の対応状況については、使用可能であればメール、電話などでお知らせいたします。
3. 教室や周辺の状況によって、段階的に、松山耳鼻科駐車場付近、または下記避難所に移動する場合があります。その場合は、使用可能であればメールなどでの連絡、出来ない場合は教室玄関(門)に掲示をします。(自治体からの要請により他の場所へ避難する場合も同様にお知らせし、行います。)
4. 通室・帰宅中に地震が発生した場合は、「帰宅」を原則といたします。

### 橿原市立晩成小学校 体育館または運動場

奈良県橿原市小房町 1-5-4



## 1. 入会規約

- 教室の活動に意欲的に取り組み お子さまの成長に前向きなご協力をお願いします。
- 教室への入室・退出、また前後で会う方々へ お互いにお子さまと共に積極的に気持ちの良い挨拶をお願いします。
- 住宅の中にある教室ですので、近隣の迷惑になる行為（立ち話や無断駐車）などはおやめください。お子さまを遊ばせるもの同様です。
- レッスン前後の駐車(場) またはその周辺・道中のケガや事故は保護者の方の責任でお願いします。また施設の破損等があった場合は修理費(実費)をお願いします。
- 教室に登録いただきました住所などは、教室運営上でのみ使用し、教室以外への譲渡など一切行いません。またいただいた書類は適切に管理・処理し、返却はおこないません。
- レッスン日は各月指定日・指定回数で行います。
- 基本、日祝はお休みですが、場合によって祝日もレッスンがございます。お盆・年末年始はお休みをいただきます。その他 学会研修・講師の研修により レッスン日が変則的になることがあります。
- 場合により各月のレッスン回数を変更する場合がございます。(全体の回数は変わりません。)

## 2. 入退室について

- レッスン前は準備・その他に時間を使っております。早く到着されたからと入室されると準備が不十分となったり、レッスンをしている場合先の方にご迷惑となったりしますので駐車場または門前でお待ちください。入室は3～5分前とさせていただきます。
- レッスン終了時刻には遅れないようお迎えにいらしてください。

## 3. 欠席と振替について

ぽこあぽこ・ぶれいんふぁんとの方の欠席について、振替の設定がございません。  
健康管理など気を付けてください。

## 4. 警報発令時のレッスンについて

- 天候により橿原市(奈良県北西部ではありません)に**暴風警報**並びに**特別警報**が**レッスン開始60分前までに**解除されなければ休校といたします。そのほかの注意報・警報は該当しません。その際のぽこあぽこクラス・ぶれいんふぁんとの振り替えについては当日以降の指定日に行います。(予報により前もって休校にする場合もございます)
- 対象警報が発令されていない場合や、対象時間に解除になった場合でも、当教室までの経路によっては、ご来校が 困難であったり危険が生じたりすることも想定されます。お子さま・保護者の皆さまの安全を第一にお考えいただくよう、お願い致します。保護者の方のご判断でお休みになった場合は通常欠席扱いとなります。
- レッスン中の警報発令について、安全の確保を第一に考え可能な限り続行しますが、帰宅時に困難であろうと判断した場合、早い目にレッスンを中断しお迎え連絡をして帰宅いただく場合もあります。また保護者の方からのお申し出による早退も承ります。その際は、 自然災害にともなうレッスンのキャンセルとなり、振替・代替え・返金対応は設けません。ご理解をお願いします。

## 5-a. 伝染性感染症(インフルエンザ・手足口病 等)・新型コロナウイルス感染症に罹患・罹患ではないが疑わしい場合

- 医師より診断された場合、疑わしいと思われる場合、お通いの学校や園や施設が臨時閉鎖になった場合、家族内等で隔離がむづかしい・感染確率が高い場合等 欠席をお願いします。
- 医師より通室(登園・通学)可能と診断された上での 通室をお願いします。(個人判断のないように)
- 「とびひ」や「水いぼ」等 適切な処置をした上で通室可能と診断された場合は、指示された適切な処置を行った上で来室し、その旨をお知らせください。適切な処置がされていない場合は、ご連絡をして、お迎えにさせていただきます。

## 5-b. 感染対策・予防について

- 空気清浄機・サーキュレーターを稼働し、空気循環・換気を行います。空調も行いますが十分にならない為、体温調整ができる服装で お越しください。
- 入室後、退室前に手洗い・うがいをし、手洗い後には手指消毒を励行しています。 また、鼻をかんだり口に入れたりしている場合も手洗い・手指消毒を促します。
- 風邪症状がみられる場合（特に咳・くしゃみ）は、マスクの着用をしてもらいます。入室時にしていない場合でも着用を促します。
- 風症状がみられない場合でも 奈良県から出される各感染症情報から必要と判断した場合は、マスクの着用を促す場合があります。常に携帯するようにしてください。

## 6. 休会について

- 休会をされます場合は、前月の20日までにお申し出ください。その際、在籍登録費として休会月数×1000円を休会開始月までにお納めください。21日～末日までのお申し出は、お月謝の20%を頂戴します。該当月に入ってから7日までの休会お申し出については、お月謝の50%、8日以降のお申し出は、お月謝の100%が必要となりますのでお気をつけください。（振り込み可） なお、入金がない場合は退会とさせていただきます。教室が認める特別な理由がない場合以外の最長休会月数は5カ月です。それ以降は自動退会となります。
- 休会だが、その間の子育ての相談をしたいという場合は、休会費+1,000円を休会開始月までにお納めください。（振り込み可）
- 無連絡で2ヶ月おやすみされた場合は退会とさせていただきます、お休みをされていた月の月謝を頂戴します。またその場合の再入会は、入会金が発生いたします。

## 7. 退会について

- やむを得ず退会される場合は、前月20日までにお申し出をお願いします。（例：3月末退会の場合、2月20日までにお申し出ください）
- 退会を申し出された方の再入会についての入会金はいただきません。
- 皆さんに気持ちよく通っていただけるよう、**当教室の方針や規約にご理解やご協力をいただけない、消極的・保護者さまのお子さまへの干渉が多い・著しく他の生徒へよくない影響があると判断した場合、レッスン中のお子さまの安全を確保できかねる場合は、途中退会をしていただく場合がございます。**その際、月途中で未使用の月謝等があってもお返しできません。再入会もしていただくことはできません。

## 8. お子さまの様子について

- お子さまのことで気にかかることは 報告時では長くなる場合など 教育相談（懇談）をお申し出ください。
- 教室講師は 医療的診断はできません。しかしながら かかわりの中で発達段階（身体的・精神発達面）において 気になる点は お子さまを理解するという意味で ご相談 ご質問させていただく場合があります。また何か診断がある場合は お子さまの理解に誤差ができないよう必ずお知らせください。保護者様からの懇談（講師の見解）をお受けになりたい方は ご連絡ください。

## 9. その他

- 当校は入会規約・システムを必要に応じ変更する権利を有します。年度途中に行う場合は事前にお知らせいたします。
- 教師の病気等の理由でやむを得ずレッスンを休校する場合は振替を行います。

以上

## ホームページキー

pocoapoco-only2024

（現在は、別のキーとなっていて閲覧できません。3月末から見られるようになります）

教室生の方以外の方への開示を禁止します。内容を転写・転用・SNS等の記載を禁止します。

キーは 必要に応じて変更しますが、教室生皆様の利益を守るために扱いには 気を付けてください。